

大阪府入札監視等委員会 入札監視第1部会 平成26年度第1回定例会議 議事概要

- 1 開催日時 平成26年7月11日（金）午後1時30分から午後4時30分
- 2 場所 大阪赤十字会館 4階 401会議室
- 3 出席委員 5名
- 4 審議対象期間 平成25年12月1日から平成26年3月31日まで
- 5 会議の概要 審議対象期間中の、入札方式別の発注案件の状況、入札参加停止措置等の状況、談合情報等の処理状況について事務局、担当課から内容の説明を求めた上で審議を行った。
 また、大阪府が契約締結した建設工事（予定価格250万円を超えるもの）、測量・建設コンサルタント等業務（予定価格100万円を超えるもの）、委託役務業務（予定価格100万円（物件の借入れについては、80万円）を超えるもの）、物品購入（予定価格160万円を超えるもの）総契約件数775件の中から次の13件を委員が任意抽出し、事案ごとに担当の発注部局から入札・契約の過程及び内容の説明を求めた上で審議を行った。

（抽出事案一覧）

入札方式		案 件 名	契約金額(円)
建設工事	一般競争	大阪府防災行政無線再整備工事（第2期）	7,268,400,000
	一般競争	空港周辺緑地施設整備（25）工事	124,960,500
	一般競争	せんなん里海公園潮騒ビバレー防水工事	55,267,800
	一般競争	都市計画道路 和泉中央線 周辺整備工事（その4）	48,300,000
	一般競争	主要地方道 大阪高槻京都線 外 防災安全みちづくり交通安全施設設置工事	14,511,000
	一般競争	南大阪湾岸流域下水道 和泉忠岡幹線外 マンホール蓋更新工事	5,048,400
	随意契約	都市計画道路 大和川線シールド付帯工事（避難通路） ※	1,492,020,000
測量・ 建コン	一般競争	一級河川 神崎川土質調査委託（出来島大橋上下流左岸）H25-3	15,382,500
	一般競争	一級河川 恩智川治水緑地基盤整備工詳細設計委託（池島二期・福万寺二期）	3,675,000
委託役務	一般競争	大阪府立修徳学院第10寮舎の賃貸借	64,649,300
	一般競争	滝畑地区ほか本数調整伐ほか（25・保育）事業	13,461,000
	随意契約	大阪府広域災害・救急医療情報システム端末・回線調達及び運用保守業務 ※	262,051,200
物品	一般競争	パソコン機器類の購入（南大阪高等職業技術専門学校）	3,787,350

- 6 審議の結果： 抽出した13件の処理状況は概ね適正であると認める。
- 7 委員からの質問とそれに対する回答： 別紙のとおり

(別紙)

質 問	回 答
<p>【大阪府防災行政無線再整備工事 (第2期)】</p> <p>入札予定価格はどのように設定したのか。</p> <p>自社で機器を製作できる企業は応札しやすいが、そうでない企業にとっては厳しい条件で、入札できない者が多くなる恐れのある予定価格となっていないか。</p> <p>厳しい入札条件なので落札率が高くても、それは当然の結果ということか。</p> <p>予定価格は事後公表であるのに、なぜ落札者以外は入札を辞退し、1者入札となったのか。</p> <p>無線設備は、1者入札が多い。別の理由があるのではないか。</p>	<p>本件の入札予定価格は、必要な機器や材料及び据付費などを積算基準に基づいて、積み上げで算出している。材料等は公表単価を採用し、機器等は各メーカーからの見積をとっている。</p> <p>防災行政無線は、様々な種類の機器が必要であり、自社調達できない者は、他者から購入する必要があるが、予定価格の算出根拠となる見積りは、無線設備、監視設備、電源設備等、各設備別に合計額を比較し、その合計額の最低価格であるメーカーの各機器単価を採用している。今回だけが厳しい条件で入札できない予定価格であったとは考えていない。</p> <p>適正な価格で予定価格を算出したと考えており、結果的に落札率が高くなったと認識している。</p> <p>本件は府のホームページで予算規模を公表しており、辞退した業者へのヒアリングの結果では、他社からの購入機器で積算したところ予算規模を超過したので辞退したと聞いている。</p> <p>事前に入札参加可能な業者数は20者程度あることを確認している。各者とも、全国的に受注実績があり参加すると期待していた。ヒアリングの中では、これ以外の理由は出てこなかった。</p>
<p>【空港周辺緑地施設整備(25)工事】</p> <p>工事を分割した上で、取り抜け設定をして発注しているが、どのような考え方によるものか。</p>	<p>分割については、街区ごとに整備内容が異なっていたため、効率的に工事を進める観点から、街区ごと4つの工事に分割し発注した。</p> <p>取り抜けについては、4つの工事のうち3件について、同時期の発注となったが、十分な応札者数を見込むことが出来たことから、取り抜けの設定をした。</p>
<p>【せんなん里海公園潮騒ビバレー防水工事】</p> <p>予定価格はどのように設定したのか。</p>	<p>積算の基準については、大阪府の積算基準を使っている。積算基準のない防水工事については、メーカーから見積りを取って、予定価格を積算した。</p>

<p>失格者が多いが、なぜか。</p> <p>失格者は、観客席仕様を一般用と見誤ったのではないか。</p> <p>何者から見積を取ったのか。また、その者は入札参加したか。</p>	<p>失格者のうちヒアリングできた1者は、スタンドのベンチ等の撤去や再設置の費用を見込むのを失念したとのことであった。もう1者にもヒアリングしたが、理由ははっきりしなかった</p> <p>工事現場は、海が近いので塩や砂が多く積もり、その上を観客が動くのでグレードの高い観客席仕様としたため、防水の材料単価が一般的なものと比べ2倍ぐらいの開きがある。この部分の見間違いも考えたが、確証は得られていない。</p> <p>見積を取ったのは3者からで、そのうちの1者は入札参加資格があり参加申込みはしたが、入札には辞退した。</p>
<p>【都市計画道路 和泉中央線 周辺整備工事（その4）】</p> <p>入札金額が、上位2者と3番目、4番目との間で非常に大きな差があるが、なぜか。</p> <p>入札公告の段階で、残土の処分先は分かるのか。</p> <p>処分費用はいくらと、具体的な金額を示したのか。</p> <p>処分先が提供する情報を見よという指摘はしたか。</p>	<p>本件は残土の処分先を指定している。それを見落とした可能性がある。</p> <p>入札公告では1,830立米の残土を処分することしか分からないが、入札参加資格申請をして設計図書が手元にくれば処分先がわかる。</p> <p>金額は示していないが、処分先が提供する情報でわかる。</p> <p>設計図書に付けている特記仕様書の中に、処分先に関する事項については各自で確認する旨を記載している。</p> <p>失格者は、それを見落として、ほかの処分地へ持っていくとして金額を入れたものと思われる。</p>
<p>【主要地方道 大阪高槻京都線外 防災安全みちづくり交通安全施設設置工事】</p> <p>最低制限価格を少し下回ったところで失格になっている者がある。ランダム係数が最下限に振れていたとすれば、最低制限価格はどの程度の金額になっていたのか。</p> <p>ランダム係数の影響よりも、</p>	<p>最低制限価格は、それぞれの経費に一定の率をかけて算定基準額を出し、それをプラスマイナス0.5%の間で変動させている。</p> <p>今回は、ランダム係数が上限側に0.47%ぐらい振れたので失格者が多くなった。ランダム係数が一番下限であれば1,219万8千円となり、その場合なら失格者のうち4者が有効となった。</p> <p>労務単価は26年2月に改正されているが、この案件の労務単</p>

<p>むしろ労務費が高くなったことの影響が大きかったように感じるが、どうか。</p>	<p>価は改正前の単価で積算して公告している。 ランダム係数が上限に近いところに設定されたので、ほとんどの業者が失格となり、誤って新単価で入札した3者が残った形となった。</p>
<p>【南大阪湾岸流域下水道 和泉忠岡幹線外 マンホール蓋更新工事】</p> <p>本件は、マンホールの蓋の製作も含めて発注しているのか。</p>	<p>マンホールの製作は、この工事に含まれている。実際は、マンホールメーカーから購入している。</p>
<p>【都市計画道路 大和川線シールド付帯工事（避難通路）】</p> <p>_____</p>	<p>_____</p>
<p>【一級河川 神崎川土質調査委託（出来島大橋上下流左岸）H25-3】</p> <p>最低制限価格を下回った失格者が20者くらいあるが、最低制限価格はどのように設定しているのか。</p> <p>予定価格には適正利潤も含まれており、落札率が高いのは悪くないのではないか。つまり、予定価格と最低制限価格の間は全て適切ではないか。</p> <p>本件は府の防災計画上、緊急案件であるが、どのような考えで27工区に分割発注したのか。</p> <p>多くの業者が入っているが、調査結果の品質に問題ないか。</p>	<p>最低制限価格の設定方法は、国等の基準に準じており、経費の内訳に所定の率を掛けて算定した上で、ランダム係数（プラスマイナス0.5%変動）を乗じて設定している。</p> <p>入札参加者は、予定価格を算定した後、最低制限価格を出してその付近を狙っていくというのが実情という話を聞いている。</p> <p>予定価格よりも低ければ適正という考え方であるが、あまり低すぎると品質面の問題が出るので、最低制限価格を設け、その範囲に入っていれば適切であると考えている。その範囲の中で、できるだけ低い価格のほうがより望ましいので、できるだけ競争環境を整えて入札している。</p> <p>一定の品質を確保しつつ土質調査を早期に完了させるため、施工時期や施工場所などを考慮のうえ、効率的な発注単位として工事の際の区切りを参考に工区数を設定した。</p> <p>業者は一定の資格を持っていること、調査内容は特殊な土質調査でなく一般的な土質調査であり、短期間に集中的に調査しているため、品質は全体的に統一がとれていると考えている。</p>

<p>【一級河川 恩智川治水緑地基盤整備工詳細設計委託（池島二期・福万寺二期）】</p> <p>最終的に1者入札となったが、その理由は、どのように考えているのか。</p> <p>利益率の高い仕事であれば、忙しくても取りに行こうと思うが、どう考えるか。</p> <p>この多忙な時期をずらせば、こういう状況にならなかったのではないか。</p>	<p>この業務以外にも、いくつかのコンサル業務を委託しており、それらのコンサル業者に聞いたところ、この時期、建設工事の大幅な伸びに伴い、コンサル業務も非常に多く、手がまわらないという実情があったとのことであった。このような事情が影響したと考えている。</p> <p>利益率については、適正な積算をしていると考えている。業界の方からは、やはり技術者がいないという話を多く聞く。</p> <p>発注の時期については、一つは事務所の中での事業の優先順位等があること、もう一つはグラウンド利用とか太陽光パネルの工事が近々始まるので、それに間に合わせるための基盤整備の工事であったことから、この時期に発注する必要があった。</p>
<p>【大阪府立修徳学院第10寮舎の賃貸借】</p> <p>財政の平準化を目的としてリース方式を採用したとのことであるが、一時的に借入金をした後、元本・利息を払っていくのと比べても安くなるのか。</p> <p>リースの本質は借金であるので、起債をした時との比較があるのではないか。</p> <p>図面は標準図面であり、必ずしもこのとおりに建設するわけではない。入札予定価格は、どう設定しているのか。</p> <p>ユニットバスとか壁材のランクを落とせば、入札した2者の差ぐらいは出るのではないか。</p> <p>落札した業者のリース物件のほうがいいと言えるのか。</p>	<p>起債発行した場合との比較までは出来ていないが、工事発注した場合とは、ほぼ同等くらいのコストであると考えている。</p> <p>起債により資金調達した場合との比較は、一度するようにしたい。</p> <p>仕様を示して、業者から仮見積を取っている。また、過去の発注実績などから総合的に判断して予定価格を設定している。さらに、一級建築士に、どれぐらいの建設コストになるのかを積算してもらっている。</p> <p>ユニットバスは型番を指定しているが、壁材などは材質や厚さを指定しているものの、型番までは指定していない。</p> <p>落札者とは詳細設計に入る段階で標準図面を参考に意見調整している。また、施工業務の監視は責任施工で業者がするが、府も監視をしており、図面どおりにできているかはチェックしている。</p>

<p>本件はリース契約なので、壁材を変えたりして建設コストを節約することは、あり得るのではないか。</p>	<p>平面図のほかにも外部仕様や内部仕様で、一定の指定をしている。型番の設定ができていないものもあるが、そこは業者を信じるという形になる。</p>
<p>【滝畑地区ほか本数調整伐ほか（25・保育）事業】</p> <p>応札者が少ないが、元々この入札参加資格条件を満たす者が、少ないということなのか。</p>	<p>本件は入札参加資格として、森林整備事業入札参加資格者名簿に登載されていることを条件としている。</p> <p>入札時点で入札参加資格を有する者は2者であり、その2者が応札した。</p>
<p>【大阪府広域災害・救急医療情報システム端末・回線調達及び運用保守業務】</p> <p>不調となった当初入札は、参加申込者は2者で応札は1者だが、これ以外にも入札参加できる者はいたのか。</p> <p>随意契約ができなかったとすれば、どうなっていたのか。</p>	<p>今回の調達に当たっては、システム開発と今回の端末・回線調達に分けたが、端末・回線については、システム開発に比べて専門性が低い。</p> <p>参加しなかった業者からも問い合わせはあり、2者以外にも入札参加できる業者は、あったと考える。</p> <p>再度スケジュール全体の見直しや再入札の実施等が必要となったと考える。</p>
<p>【パソコン機器類の購入（南大阪高等職業技術専門学校）】</p> <p>なぜ WindowsXP のサポート終了間際に発注することになったのか。</p> <p>ソフトウェアのインストールや機器の接続・調整等を外して、再公告しているが、この作業は誰がしたのか。</p> <p>初めから機器納入だけで入札すればよかったのではないか。</p>	<p>WindowsXP 問題は、前からわかっていたが、訓練機器の予算要求の中での優先順位等が後回しになっていたという経緯があり、発注時期がこの時期になった。</p> <p>知識を持っている指導員がおり、指導員が手分けをして行った。</p> <p>使える状態で購入するというのが、今までの訓練機器の購入の仕方であり、今回は苦肉の策ということでご理解願いたい。</p>